

SSKS 療育ねっとわーく川崎

2015年8月20日発行
No.179 (2800部)
NPO法人
療育ねっとわーく川崎
発行者 江川 文誠
編集者 谷 みどり

みんなの伝言板

ご感想は e-mail : kouhou @ rond. jp までどうぞ
☆編集メンバー 遠藤・佐藤・谷・七瀬・前田・和田

2015 療育ねっとわーく川崎映画会

大阪市立南住吉大空小学校。ここでは、発達障害を抱えた子、自分の気持ちをうまくコントロールできない子など、いわゆる特別支援の対象となる児童も同じ教室で学ぶ。大空小学校が目指すのは不登校ゼロ。教職員、保護者、地域の大人たちだけでなく、子ども同士も一緒になり「みんながつくる、みんなの学校」のスローガンに取り組む姿を長期にわたり取材。そこには、ごく普通の公立小学校が実践する濃密な教育の姿があった。

2015年10月7日（水）多摩市民館大ホール無料上映
どなたでもどうぞ。事前申し込みは不要です。当日直接会場へいらしてください。

- ① 10:00 開場 10:30 - 12:20
- ② 12:30 開場 13:00 - 14:50
- ③ 18:00 開場 18:30 - 20:20



こんなとき どうするの

私はヘルパーとして、車いすの方と外出することがあります。電車の場合、窓口で声をかけると、ホームまで案内してくれて、スロープもすぐに用意してくれます。以前は、駅員さんをお願いしても、駅員が少ないからと、いやな顔をされることもありましたが、今はとても好意的で、介助を頼むことが当たり前になっていきます。

一方でバスは、ベテランヘルパーでさえ、「できればバスは敬遠したいな」といわれるほど。今日はいやな顔をされないかしら、固定をちゃんとしてもらえるかしら、と不安な思いを抱えて乗っています。特に、途中下車の場合は、他の乗客への声かけをしてもらえるかどうかで、周りの雰囲気も変わり、緊張感が高まります。車内でベルト装着がされなくて、カーブで車いすごと横転し、本当に怖い思いをした人もいます。

Q 私は、手押し車いすです。遠方の病院に通うときには、介護タクシーを利用していますが、お金もかかるので、できるだけ公共交通機関を利用するようにしています。ところが、これが結構大変です。運転手さんによって対応がまちまちで、何度も嫌な思いをしています。乗車の際に、スロープを出してもらえなかった。車いすの固定をしなかったため、前輪が浮き後ろに倒れてしまい後ろの壁で頭を打ってしまった。呼んでも答えてくれないなど。皆さんは、そんな経験はありませんか。

しかし、これでいいわけではないですね。車いすの人がバスに乗るために肩身の狭いをしなくてはならないなんておかしいです。

すでに、国は2006年に「交通バリアフリー法」を制定し、高齢者や障害者等の移動が円滑にできるような計画を推進しているところがあります。こういって、低床バスやノンステップバスの導入が進められてきました。さらに、2020年には東京オリンピック・パラリンピックを控え、さらに高いレベルのバリアフリー化を目指す方向が打ち出されています。

2016年4月からは、「障害者差別解消法」が施行されます。この

ママ・パパも学べる憲法カフェ

私たちの生活にとって身近な憲法を気軽に学んでみませんか？
「ケンポー」とか「アンポカンレンホーアン」だとかニュースや新聞では難しい言葉がとびかっているけれど、子育て中はなにかと忙しくて・・・

でも子どもの自由で平和な未来は守りたい！
「ようかい体操」のラッキィ池田さん
人気憲法カフェ講師・武井由起子さん

日時：2015年9月12日（土）
場所：高津市民館大ホール
申し込み：8月22日 10:00～高津市民館受付前にて整理券配布（先着300名）
問い合わせ：高津市民館 044-814-7603
主催：川崎市教育委員会

発行所 郵便番号一五七〇〇七三 世田谷区砧六二六二一
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価一〇〇円

会員・賛助会員募集

（連絡先） 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンター Rond
Tel 044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: tani@rond.jp http://rond2981.jimdo.com/
（会費振込先）郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費 2500円 賛助会費一口 2000円

今月号の目次

- 1 こんなときどうするの.....1
- 2 乗合バスの障害者対応に対するアンケートのお願い.....4
- 3 療育ねっとわーく川崎の人生.....8
- 6 みんなの伝言板.....8

（本誌は会員のみ配布）

夕方支援の予算要望書

—平成28年度予算要望書

2015年7月10日
障がい者の夕方支援を考える会

日頃よりのみなさまの真摯な議会活動に敬意を表します。
私たちは田島支援学校を卒業した障がい児の保護者を中心に昨年の12月に結成した会です。

○経過

中高生タイムケア事業、放課後等デイサービスなどの施策整備により、重い障がいのある子どもたちの在宅生活において午後6時頃まで、家庭以外で過ごす環境が整ってきました。結果、親の負担軽減、就労の保証も徐々に充実してきました。しかし高校を卒業し、生活介護施設等に通うようになるとそれまで午後6時頃に帰ってきていた子どもたちが3時半頃に帰ってきます。川崎市内の通所施設では労働環境を理由に数

年前よりもかえって帰宅時間が早まっている傾向があります。「学校時代のように食事作りが終わる時間まで見てもらい、楽しく過ごしてきてくれれば在宅生活を続けられるのに、体も大きくなって、もう無理」学校時代に苦労して、協力しあっていたか就労を継続して来たのに、子どもが社会に出たら何故逆に早く帰されて、親は仕事を辞めざるを得ないのでしょうか。」重い障害のある青年の家族の声です。

この問題を解決するために私たちは、3月に署名を集め、市議会に請願を行い、全会一致で採択されました。

今年5月に川崎市（障害計画課）と話し合いを持ちました。市からは「この問題は認識しており、上半期中にニーズ調査を行う」「課題は他にもたくさんある。」などの話しをされました。又この5月の時点で「ニーズ調査の方法などは決まっていない」とのことでした。

私たちは議会での質疑や請願の採択を通じて、保護者や署名をして頂いた市民のみなさん、市議会議員のみなさんの力で『この問題が解決しそうだ』との印象を持っていました。しかし市との話し合いを経て『請願前と何も変わっていない』との印象を受けざるを得ませんでした。『上半期は9月までで5月時点でニーズ調査の内容が決まっていない』私たちは来年度での解決のために自分たちでアンケート調査を行い、予算要望を行うことにしました。

○要望内容

1、夕方（利用者または家族の希望時間）までそれぞれの通っている通所施設を利用できるように助成金の具体的な支援をお願いします（人員、送迎にかかる費用の負担を市で予算化できるようにお願いします）。

以下、アンケートに基づく説明です。（ ）はアンケートの設問番号です。

①「夕方」↓アンケートでは現在の通所の時間帯の満足度は満足56%、不満44%（施設利用者向け15）で、不満の方の希望利用時間は多い順に16時まで31%、18時まで25%、17時まで21%、16時30分まで14%と様々です。利用者全員が夕方まで必要なのではなく、必要な家庭にだけ支援の実現をお願いします。

②「それぞれの通っている通所施設で」↓慣れた施設で障害特性を理解している支援員さん（複数の場合もあり）に見て頂けると家族は安心できます。障害特性を理解するには時間がかかります。特性を理解している支援員を必要とします。

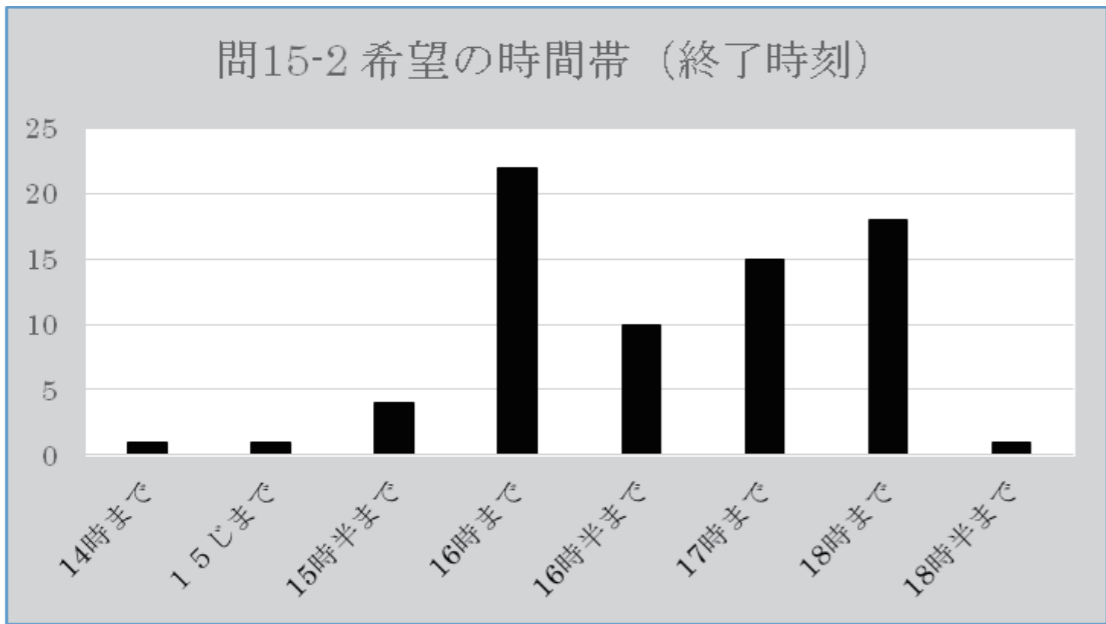
③夕方支援を必要とする理由は「家族で介護している人が働いている」が最も多く、70歳以上が介護している場合もあります。長時間の高

齢者の介護は危険も伴います。④「夕方支援が現実となるために必要なことは」との問いには「事業所の補助金」が一番多くなっています。施設利用時間が短くなっている理由には施設職員の労働条件もあり、問題の解決には（送迎も考慮した）予算措置が必要です。

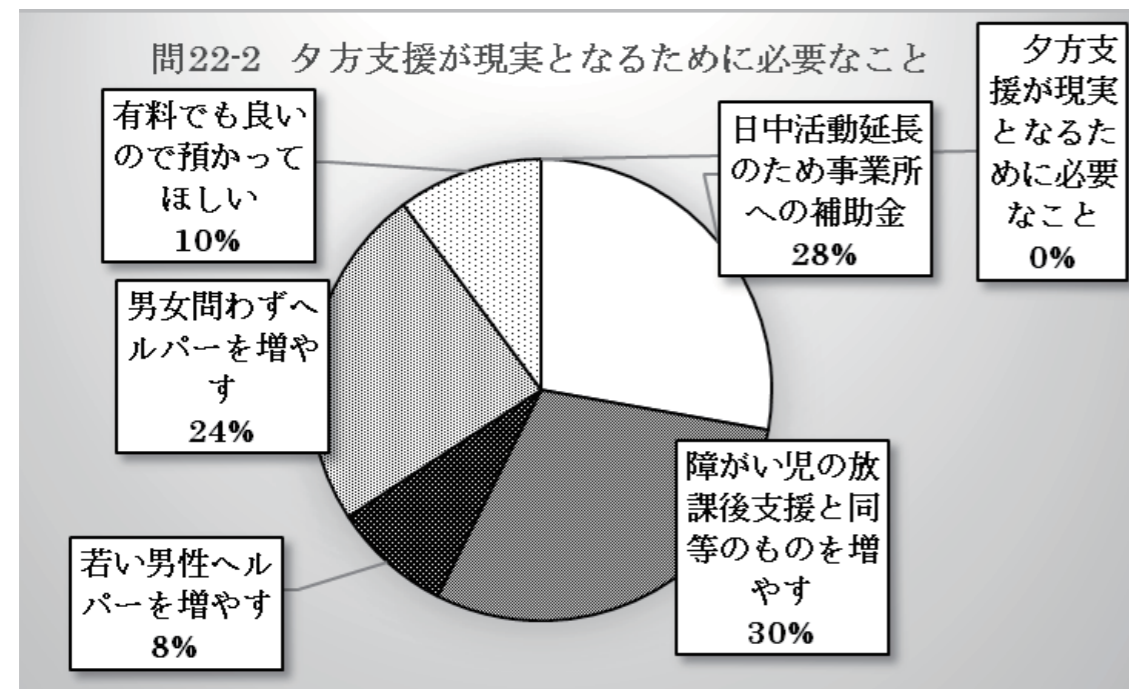
くかかる可能性があります。2、上記1での解決を前提として

経過措置として、「日中一時支援」「ヘルパー時給」への支援を増やし『制度があっても事業所がない、ヘルパーがいらない状況』の改善が必要です。日中一時支援の利用者の85%が区分4以上の重度の利用者であることを考慮すること、特に「日中一時支援」に施設より来所する場合の『2割減算』は事業所の受け入れを経営的に困難にしています。

以上、是非予算措置をお願いいたします。



す。施設利用時間が短くなっている理由には施設職員の労働条件もあり、問題の解決には（送迎も考慮した）予算措置が必要です。⑤市は「日中一時等既成の制度で対応します。」と委員会が答弁していましたが実際には対応できないケースが数多く報告されています。現在は「日中一時支援」の事業所数も少なく、重度の障がい者に対応できるヘルパーも見つかりにくい状況です。また、「日中一時支援」で対応するためにには卒業に応じて毎年「受入数」を増やしていく必要がでてきます（増設）。予算的にも施設利用より多



みなさんのおかげで「私の人生バラ色」

ダイジエスト版 連載④ 松浦明美

■ゆうかり園から野川小学校へ

野川小学校に通うようになって三ヶ月ぐらいたった時、井田小学校の分校井田学園があると聞いて、転校しました。野川小学校の友達とはたったの三ヶ月間だったので、すが学校でお別れ会をしてくれました。母が四十人分のお菓子を買ってくれていました。私は班長さんと離れるのがすごく寂しかったけど、私はこの学校に居ても何と出来ないうらなを告げました。もしかしたら私のあきめきはありませんでした。ときめくのはこれから沢山出てきます。

私とその頃見た夢ですが、真っ白のヒラヒラのブラウスを着て水色のベルトをウエストでとめて、雲の上でターンをするとスカートのすそが円形に拡がりまっさらな空を飛んで、星を長い髪に付けた洋装に付けたりしながら虹色に輝いている虹のすべり台

です。すべてまるで空のお姫様か空の妖精になったようなすくく綺麗な夢でした。その時から私はバレエを習ってプリマかスチュワーデスカ看護婦さんになって親孝行をする

と決めました。それを母に言ったら「明美は親孝行だね」と「だけど歩けないのにそんな仕事できるかしら」と言われたけれど、歩けるようになると思っていた自分がかかかにおいて、「平気、平気一生懸命練習をするからお母さんは心配しないで、働いてお母さんとお父さんのめんどうは私が一人でみてあげるから」と私の仕事をする絵を書いていました。その時、妹が歩けるようになって、一緒に学校に行った夢を何回も見ていたそうです。私は口に出しては言わなかったけれど、妹は普通に歩けるお姉ちゃんと一緒に通学をしたかったのかなと思うと妹がかわいそうだなと思っていました。

そんな事を考えているうちに、私は六年生になりました。(略)

母達が寝た後に友達に電話をして、四五人で迎えに来てくれて、私を車椅子に乗っ

けてくれてファミリーレストランに行った公園で話をしていたりして、とても楽しくてたまりませんでした。タバコも吸い

ましたが「明美ちゃんタバコの煙は一度飲み込んだら咳がゴホンゴホン止まらなくて苦し経験をしてからタバコはソレッキリすいません。歩道を歩いてドライバーの人がタバコを投げ捨てたのがちようど私の車椅子の上に乗って足がとても熱かったし、私の新しい超おきにいりのスカートが燃える経験もしました。

ある日、レストランから出てきたら、女の人に「こんな時間に何をしているの、年はいくつ」と聞かれてしまいました。私はとっさに婦人警官?と思いい、「年は二十歳です」そしたら女の人は「ジャー後ろの子は」と聞いてきたので私はまた嘘をついて「妹です」と言っていました。そうしたら女の人は「アーそうなの、でももう二時だから早く家に帰きなさいね」と言ってくれたので「ハイ」と返事をしました。そんな怖い思いもしました。

療ねひろば

■療ねひろば
7月15日(水)サポートセンターにて開催 参加者 親11名 当事者3名

テーマ「相談してみたい事」：支援してもらいたい事」相談支援センターGDPかわさき五十嵐さん、相談支援専門員の立場からのお話し
☆利用者が支援者になかなか直接言えないことがあっても、相談支援の担当者が間にはいることでスムーズに改善されることがある。
☆生活介護を利用・グループホームに在住・ヘルパーを利用している人は計画相談を持っていなければいけない。
☆GDPかわさきではどこまで相談をうけてくれるの？
・どんな相談でも受ける
・療育ねっとわく川崎に関係している施設や事業所に通っている方は

基本的に計画相談を受ける

☆幸区に住んでいるのだけど、地域の相談支援センターに断られた。相談を受けてもらえる？

・相談センターは、「委託相談支援センター」ではないので、地域割りはありません。
☆サポートセンター Rond と GDPかわさき相談センターの違い

・ Rond ↓ サービスを提供する事業所
・ GDPかわさき ↓ 指定特定相談支援事業所
相談したいとき、今まで通り Rond

・ GDPかわさき ↓ 指定特定相談支援事業所
相談したいとき、今まで通り Rond

ドの担当者に相談でも OK

GDPかわさきに相談しても OK

◎安心して相談できる場所がある、気持ちに余裕ができるよ

■次回の療ねひろば
9月16日 10:30
新サポートセンターにて開催
佐藤 良子

新グループホーム準備委員会が発足！

テーマは「私が住んでみたいホーム」
グループホームは、施設ではありません。我慢をしたり、無理をしてはいるところではなく、入居者一人ひとりが自分らしい生活を実現できるところでありたいと思います。

とはいえ、場所にも限りがある中で、夢が広がったり、現実に呼び戻されたり、喧々譁々の委員会が始まりました。

メンバーは、当事者の松浦さんのほかに、福田・吉村・七瀬・谷の職員4人。来月からは、さらに専門家の方にも入ってもらい、具体的な方向を探ります。

■クレッシェンド

はじめまして、山岸香織です。エチュードでは、主にイラストを担当しています。アニメが好きなので、オリジナルキャラクターの「香音」も私が描きました。

私たちの名前「エチュード」は音楽の言葉ですが、香音もパツヘル作曲「カノン」からその名前をとりました。漢字にした理由は、私の名前「香織」にかけたためです。さて、この香音ですが、特技はヴァイオリンです。愛器「ストラディバリウス」を片手に様々な曲を演奏しています。ほかにも私たちの指揮者として、エチュードの活動を率えています。一見クールなしっかり者に見えますが、実はドジおっちょこちよいです。失敗しながらも諦めずに前に進んでいく子です。

今後も香音と私たちをよろしく願います。(本連載はGDP内で活動するエチュードが担当しています。)



10月18日（日） 【ボランティアさんとバーベキュー交流会】

よみうりランドバーベキューパークJ.U.J.U
11:30～13:30（バーベキュータイム）
（園内では1日中遊べます）
親子または知人の方等との参加
料 金：1人1500円（飲み物は個別料金）
（ミキサー食、きざみ食の方は、昼食をご持
参下さい・・・参加費無料）
ボランティアさんは参加費無料
送迎ご希望の方・・・応相談
申 込：9月25日（金）締切



ロックバザール7月30日・31日地域の方もたくさん来られました！



民家園通り夏祭り



7月24日（土）民家園通り夏祭りは、暑さもサイコーの中、今年も3万人以上の人出。サポートセンターは今年から、民家園通り商店会に加盟。ハッピーワークさんたちとコラボで、センター前に出店。療ねは、岩手県山田町支援の物産販売とわた菓子を売りました。わた菓子には、長蛇の列ができ、400本以上が売れました。子ども会の子もたちが5名、1日店長さんとしてお手伝い。また、お休み（涼み）場所やトイレ利用としても開放。「ここに、こんなセンターがあったのね」という声も聞かれました。

乗合バスの障害者対応に対するアンケートのお願い

地域活動支援センター GDP かわさき
センター長 佐藤紀喜

拝啓

早涼の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび乗合バスの障害者対応につきまして広く皆様の声をお聞きしたくアンケートを実施する運びとなりました。

乗合バスの障害者対応についてのアンケートをお願いするに至った経緯と問題について下記に、簡単にご説明させていただきますと共に交通局への質問書・回答書等も添付させていただきますので、ご一読の上、ご協力を頂ければと思います。この事象は一個人の問題ではなく、地域で暮らす障害者のみなさんが安心・安全に乗合バスを使えるようにしていきたいという事です。

つきましては、ご多忙中恐縮ではございますが、同封のアンケートに率直なご意見をお書きくださいますようお願い致します。何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

敬具

経緯と問題

この発端は、当センターに通われている車いす利用者の方が市バス乗車時に輪留め（バスの車輪を固定する為の物）を置くだけで固定ベルトをしないという事でした。市バスホームページには、「車椅子でご乗車された際は、安全確保のため、ベルト固定させていただきますので、ご了承ください」と明示されているにも関わらず、昨年秋からベルト固定による安全運航と運転手の待遇改善の願いをしてみました。一年が経とうとしている今も一向に改善されておられません。

最初は営業所に改善要求の電話をしていましたが、一向に改善されませんので、やむを得ず交通局長宛てに質問状を出しました。回答期限を書いて送っても期日回答及び連絡はなく、年明けに催促しほぼ一か月後に回答がありました。そして、その回答には驚くべき事実が記載されていました。「介助者がいる場合は介助者が固定をする」と記載されていたのです。我々を含めた介助人は固定ベルトによる正しい車いすの固定方法など一切知りませんし、できません。これは、運行管理者として乗客の安全を確保しないという事であるばかりか、その責任を利用者側に転嫁するものです。

また、運行遅延を嫌う態度があらさまであり、運転手の対応にも酷いものがあります。

そうこうしているうちに、固定ベルトがなされなかったために、車いすの方がバス内で転倒し怪我をするという事故が起きました。このままではさらなる重大な事故が起きるのではと、民主党市議員仲介のもと、交通局へ出向き話し合いを行いました。しかし、回答書の内容の繰り返しでした。固定ベルトは必ずすると言ったにも関わらず、その後も改善はありません。

利用者の方は完全に個人とバス利用時間が市バス側に把握され、その方の利用時間は固定ベルトをする確率が高くなりましたが、別路線、別時間だと固定ベルトをしてくれと言ってもしないという状況が続いております。

これだけ要望しても実現しないということは、車いす利用者は安全が確保されないという事であり、このままでは車いす利用者は市バスに乗れません。今も事態は一向に変わっていないのです。